



鹿追町立鹿追中学校 学校だより

さく風

○学校教育目標

自ら学ぶ意欲と豊かな創造力を持ち
たくましく生きる

○校訓

自主創造 優厳考動 質実剛健

第374号 令和5年2月28日(火) 発行責任者 校長 池田 哲

強い気持ち

3年生にとっては公立高校一般の受験日が近づいています。

1月中旬の管内私立推薦入試に始まり、2月10日の鹿追高校連携入試、公立推薦入試、14日の管内私立一般入試と一息つく間もない状況が続いています。



さて、受験(受検)ともなれば、その結果はすべての生徒にとって嬉しい結果とはなりません。第2希望もあれば、第3希望に進学しなければならない生徒もいます。それを失敗ととらえるかは本人の気持ち次第です。私たちの生活において、すべて



が思い通りに行くことは難しいことです。むしろその方が少ないと思います。しかし、現在の中学生は、失敗や挫折の経験がほとんどなく、そのため一つの失敗によって、自分の人生は終わりだと悲観的に考えてしまう傾向があります。極端な場合、自らの命を絶ってしまう中学生もいます。「右がだめなら左がある」「AがだめならBもCもあるさ」と考えることができなくなります。「失敗が次の大きく飛躍する源となる」、また、「失敗を生かす」とのプラス志向に考えることが大切です。失敗の経験がない人はいません。ぜひ、「時には失敗もあるさ」と、何事にも負

けない強い気持ちをもった生徒になってほしいと願うばかりです。

ところで、十勝管内では新型コロナの感染者は減ってきていますが、インフルエンザの罹患が聞こえてきています。中学生ともなれば、体調管理は基本的に自己管理です。もちろんすべてが本人の責任であるとは言いません。本人が努力してもどうにもならない場合もあります。



しかし、ほとんどの場合は本人の管理、自らの努力によって、未然に防ぐことができるのではないかと思います。例えば、体調を崩す大きな要因の一つとして、睡眠不足があげられます。このことを解決するのはさほど難しいことではありません。「午後11時には必ず寝る」と決意し、誘惑に負けず、自分の強い意志で習慣化すること、それが自己管理です。自分の体は自分のものです。



～中体連大会・コンクール結果～

◇全道フットサル選手権 (1月21日 サホロアリーナ)
1次リーグ 鹿追・瓜幕中 4位

◇全国中学校スピードスケート大会 (2月2日～7日 長野市エムウエーブ)
佐藤 侑翔 (3年) 500m 2位 1000m 3位
菅原 瑞生 (2年) 1500m 8位 3000m 11位
学校対抗男子6位

◇全十勝中学校スピードスケート新人戦大会 (2月19日 十勝オーバル)
菅原 瑞生 (2年) 1000m 1位 1500m 1位 (大会新記録)
植田 楓羽薫 (2年) 1000m 23位 1500m 22位
堀江 もも (1年) 500m 14位 1000m 19位
学校対抗男子3位

【鹿追町スケート協会 年間優秀選手賞】
佐藤 侑翔 (3年) 菅原 瑞生 (2年)

【町読書感想文コンクール】

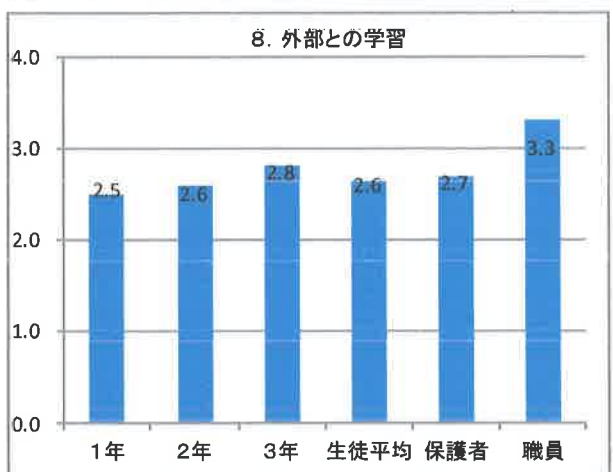
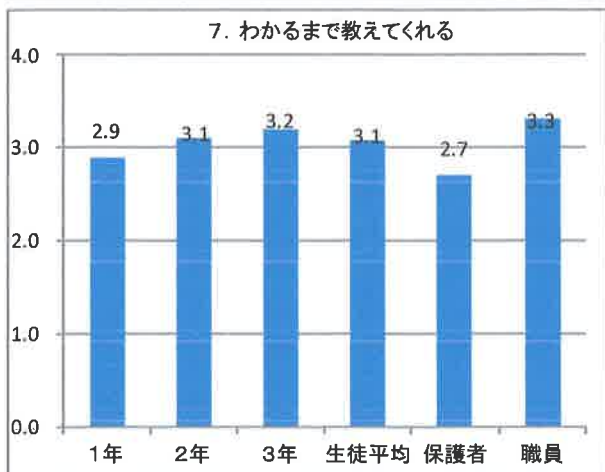
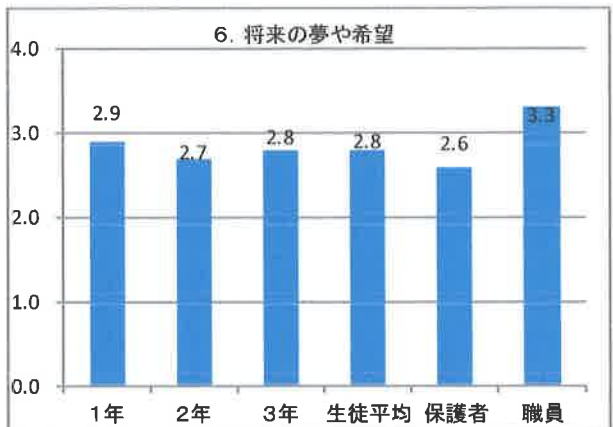
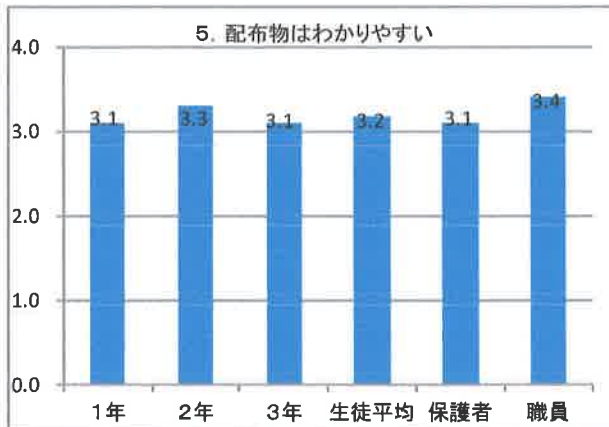
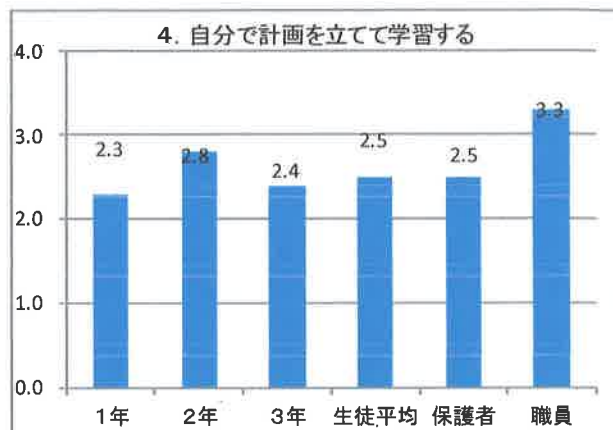
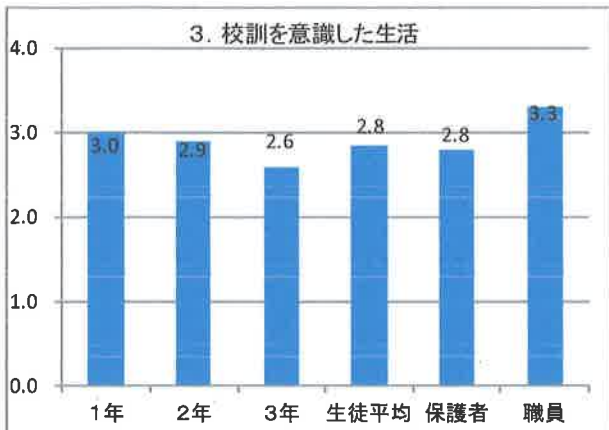
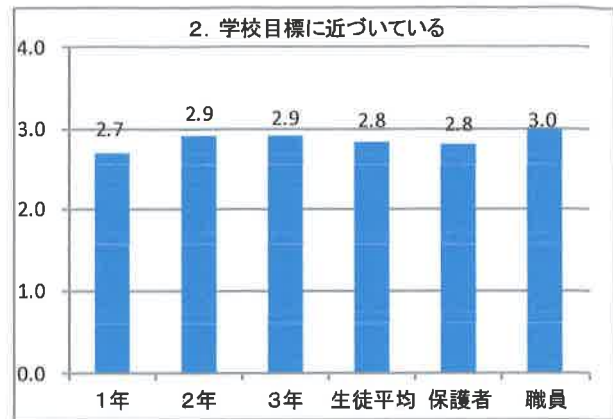
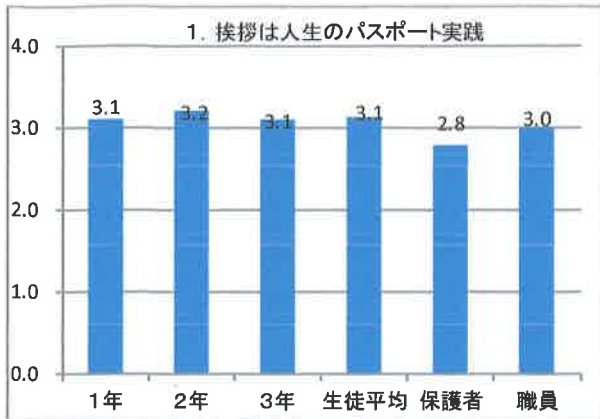
最優秀賞	中野 結 (2年)	壁谷 拓弥 (1年)	
優秀賞	渋谷 成実 (3年)	大西 絢 (2年)	武者 来実 (2年)
	菅原 陽希 (1年)	鈴木 康太 (1年)	
佳作	齊藤 健太 (3年)	鈴木 楓芽 (3年)	菅原 瑞生 (2年)
	三好 柚葉 (2年)	穴戸 あいか (1年)	堀江 もも (1年)
	宮部 愛咲 (1年)		

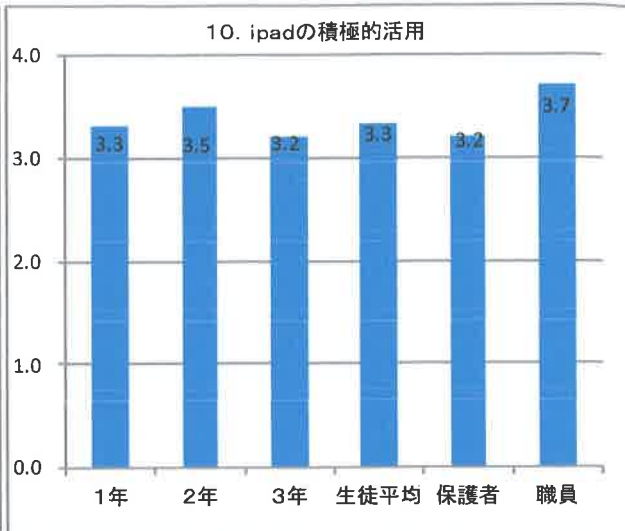
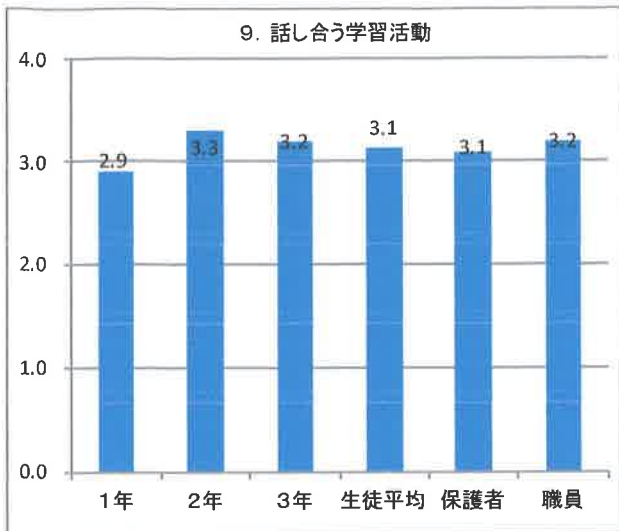
◇3月行事予定表◇

- 2日 (木) 公立高校一般入試
スクールカウンセラー来校日
- 3日 (金) 公立高校面接試験
- 7日 (火) シンガーソングライター半崎美子さんコンサート5～6校時 (町民ホール)
- 8日 (水) 移動図書
前期生徒会役員選挙
- 9日 (木) 生徒総会
スクールカウンセラー来校日
- 10日 (金) 3年性教育3～4校時 (被服室)
3年生を送る会
- 13日 (月) 卒業式総練習
- 14日 (火) 公立高校一般追検査
- 15日 (水) 卒業証書授与式
- 16日 (木) スクールカウンセラー来校日
- 17日 (金) 公立高校合格発表
- 21日 (火) 春分の日
- 24日 (金) 大掃除、修了式、離任式



令和4年度 第2回学校評価アンケート結果（生徒・保護者・職員）





生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットドリル廃止。 ・十分快適です。 ・チャイムを直す。 ・先生が、授業の教えるのが下手で、分かりにくい、ネチネチしていて受験生なの早く進みわからないところが沢山あります。 ・体育祭と文化祭を例年通りに開催してください。私たちの代だけ応援合戦をなくして行進という意味のないものにして後から理由を聞いたら応援合戦にすることもできたが先生が足りないとか解決できそうな理由でただでさえ少ない私たちの思い出をぶっ壊したり文化祭では合唱コンクールをただの合唱発表にしたりと合唱への意欲をなくすようなことを私たちに説明もなしに勝手に決めたりはしないでほしいですね。来年は私たちみたいにつまらない行事にされて辛い思いはしないでほしいです。そして私たちに今回の体育祭と文化祭がなぜこのようなことになってしまったかしっかり説明してほしいです。 ・タブレットドリルを紙のワークに戻す。 ・朝読書の時間は必要ない。 ・部活に力を入れる。 ・家庭学習の徹底をしてほしいです。 ・人と人との小さな協力をする。 ・仲が良いクラス。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿追高校は良い学校だし、無くなれば困る子も居るので必要だと強く思いますが、あまりにも鹿追高校だけを意識した授業が(特に英語)多く、町外を希望してる生徒に対してのフォローがあまりにも無さすぎると思います。鹿高以外の子は勝手に自分で受験勉強して下さいという感じに見えます。連携なので鹿高には入れるけど、逆に鹿高以外の子の方が先生方の指導が必要だと思います。もう手遅れですが、是非次年度からは、三年生は鹿高とそうでない子をクラス分けするなどして、受験に向けての指導分けをして欲しいと思います。 ・バス通学の範囲を狭めてほしい。例えば家ではなくへき地送迎の途中のポイントまでの送迎など。 ・宿泊学習や縮小してしまっている行事を行ってもいいのではと思います。 ・自分を褒める、他人を褒めるということが習慣づくようにすると、自己理解や他者理解が深まると思う。日常の取り組みが必要。保護者の立場においては、体育祭や文化祭などの行事の後にその場で感想を書いて掲示物にしてはどうか。生徒や先生に感想を伝えることも大事なかなと思う。 ・リモート学習中に、頻繁に画面がフリーズしたり音声が途切れたりするようです。 ・先日公開参観に行かせていただきました。数学の授業を聞いていて、定理や法則を覚えないと解けない問題があり、定理や法則がなぜそうなるのかの説明があるとより覚えやすいのでは？と思いました。何故、と思う事が高校に進んでからの探究に繋がると思いました。

12月に実施しました学校評価アンケートの集計結果をお知らせいたします。今回は、生徒・保護者・教職員を対象に実施しました。質問項目を10の重点項目に絞り、アンケートを実施しています。生徒・保護者・教職員の質問の文言に多少の違いはありますが、それぞれの視点から、ほぼ同じ内容の質問を行いました。これが全てではありませんが、4ポイントを満点として、それぞれのポイントをグラフ化しています。3.0ポイント(達成率75%)を数値目標としています。

【成果と課題】

【項目1】挨拶は人生のパスポート実践

学校の中だけに留まらず、どのような場面においても礼節に欠けぬよう、日頃から学校全体で取り組んでいきます。また、挨拶に関しては生徒会で率先して取り組んでいることもあり、活動を継続すること、さらに、そうした良い面を中学校が先頭となり地域に発信していきます。

【項目2・3】学校目標に近づいている・校訓を意識した生活

学校目標や校訓を意識した教育活動を実践していきます。特に、学期の中で教科実践や学級経営を振り返り、学校目標や校訓に近づくような教育活動を実践するよう心掛けていくことで、生徒にも浸透していくものと考えます。

【項目4】自分で計画を立てて学習する

授業の中で家庭学習方法についてアドバイスしています。また、生徒会学習委員会を中心に取組を強化しています。今後は学習内容の充実を図っていくことが課題となるため、各教科において、学習内容のアドバイスを全体指導だけではなく、個別にも指導を継続していきます。

【項目5】配布物はわかりやすい

今後も継続してわかりやすい情報発信に努めていきます。

【項目6・8】将来の夢や希望・外部との学習

陶芸や1日防災学校、未来への提案の授業等で、外部講師の方に授業を実施していただきました。今後も、授業の導入等で、学習の目的や意義を意識させたり、振り返りで学んだことや考え方の深まりを実感させられるように工夫を図りながら活用していきます。

【項目7】わかるまで教えてくれる

教師側が生徒の困り感を把握し、わからないところをそのままにしない習慣をつけるよう、まずは大人側からの積極的な声かけや雰囲気作りを継続していきます。その上で、生徒の実態に応じた個別指導を行っていきます。

【項目9】話し合う学習活動

新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、生徒同士が意見交流する場面を意図的に取り入れるなど、自身の考えを表現したり、話し合ったりする活動を取り入れています。

【項目10】iPadの積極的活用

教育活動全般において積極的に活用しています。今後もさらに効果的な活用の可能性について探っていきます。